

奈良県避難所運営マニュアル の改定(平成29年3月)について(概要)

1. 奈良県避難所運営マニュアル改定の趣旨

奈良県避難所運営マニュアルは、平成22年3月に、災害時に円滑な避難所運営をするために策定され、7年が経過した。

このたび、平成28年熊本地震の課題と奈良県地域防災計画検討委員会での知見を踏まえ、加えて、国の避難所運営ガイドライン等も加味し、市町村が避難所運営マニュアルを策定する際の指針となり、また災害時に即時に使えることを目指し改定した。

2. 主な修正点について

(1)【避難所環境の向上】

①災害時要援護者への対応

- ・災害時に配慮が必要な高齢者、障害者などの災害時要援護者の必要な支援内容を詳細に把握するため、「災害時要援護者連絡票」を追加

②初動対応後の避難所環境の向上

- ・段ボール等の簡易ベッド及び間仕切り用パーティションの使用や、食事の質の向上など、避難所の居住性向上に関する記述を追加

③避難所レイアウトの決定

- ・避難所開設時における避難所レイアウトに関する記述と、避難所レイアウト図例を追加

④女性への配慮

- ・避難所運営委員会の責任者に女性も参画し、意見を反映させる旨の記述を追加
- ・トイレや更衣室、物資供給に関する配慮など、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」(内閣府男女共同参画局)から引用し、記述を拡大

⑤車中泊者への対応

- ・車中泊者が一定程度滞在することを前提として、体操の実施や弾性ストッキング配布等具体的なエコノミークラス症候群対策や、物資配給量把握のための避難者名簿登録の呼びかけを記載

⑥衛生管理、病気予防

- ・マスクの着用奨励、口腔衛生維持のための歯磨き奨励等、避難者の健康に関する記述を追加

(2)【避難所運営の向上】

①チェックリストの導入

- ・災害時に、より円滑に業務ができるようにするため、業務内容をまとめたチェックリストを導入

②避難者名簿の改善

- ・避難者が避難所入所時等に情報を記入する「避難者名簿」を、より記入しやすいよう、また避難所運営委員会が集計しやすいように修正

③様式の充実

- ・「避難者一覧表」、「取材者受付表」、「トイレ使用上の注意例」、「食物アレルギー及び宗教上の理由で食べられないもの」など、多くの様式を追加

(3)【その他】

- ・「災害時要援護者への対応」及び「女性への配慮」を取りまとめて第5章とし、「避難所の事前対策」を取りまとめて第6章として再構成